

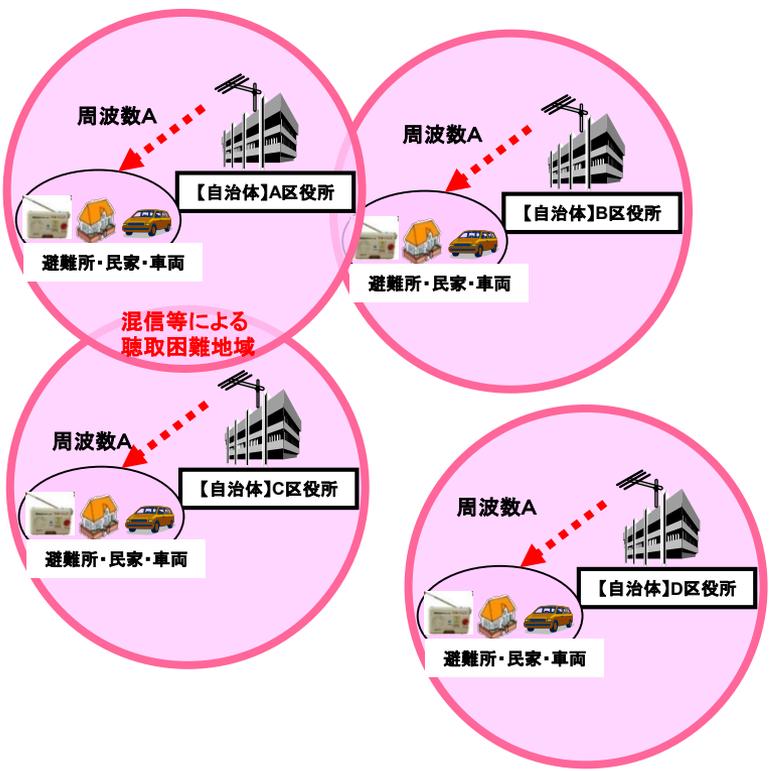
放大FM跡地を利用する臨時災害放送局の効果的な開設・運用に関する調査検討

大規模災害時に臨災局開局を想定する複数自治体において、同一周波数を用いて複数臨災局(モノラル方式標準方式)が同時期に近接して開設することをシミュレーション、室内・フィールド試験を実施し、当該自治体の要望等を踏まえつつ、次の内容について検討しとりまとめる。

【検討モデル】

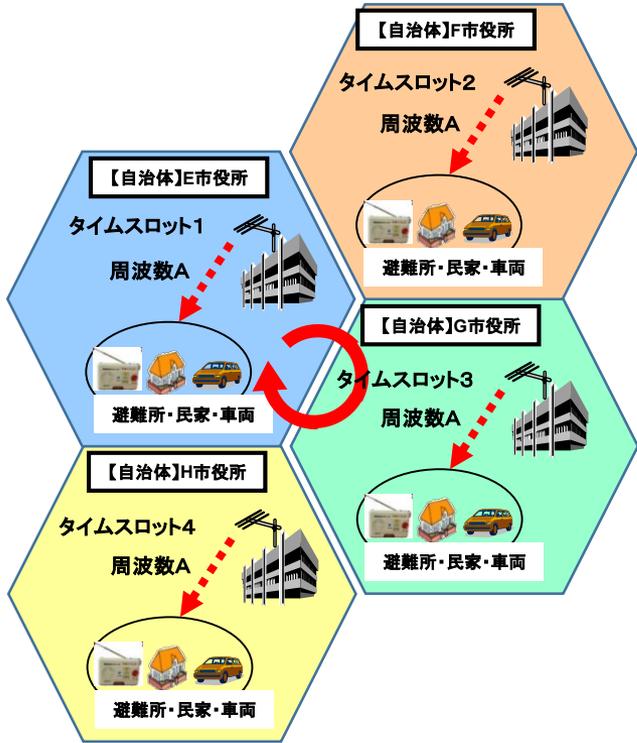
【検討内容】

複数自治体・同一周波数同時運用



- 1 臨災局としての必要最小限の技術的条件
- 2 同一周波数混信等による聴取困難地区への対処

複数自治体・タイムシェア運用



- 3 自治体間タイムシェアでの運用手法

- 1 臨災局としての必要最小限の技術的条件
モノラル標準方式の技術基準(所要電界強度、混信保護比等)
- 2 同一周波数同時運用での運用手法
近接する複数自治体が同一周波数を同時に臨災局を運用する場合の聴取困難地域の発生状況及び対処について検討を行う。
- 3 自治体間タイムシェアでの運用手法
近接する複数自治体が臨災局をタイムシェアで運用する場合の運用手法等について検討を行う。